

「早春の高原(3)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋



写真は 3 月 22 日の北軽井沢の様子である。この冬の北軽井沢は雪が少なかったが、3 月下旬になって一気に降った。それでも積雪深は 15cm 程度だった。



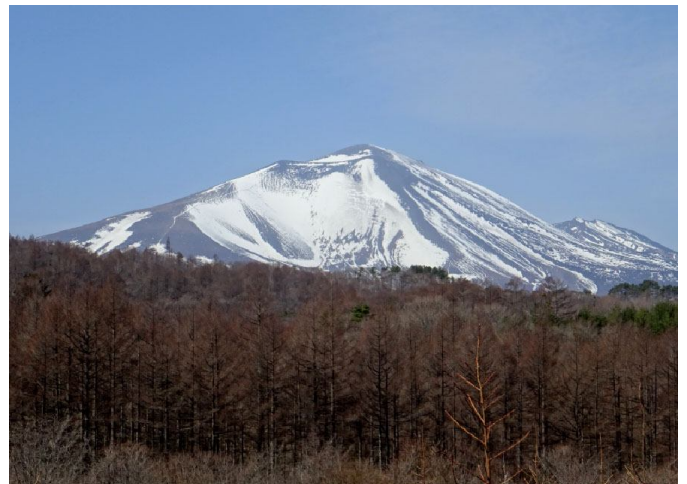
これは上の写真から約 10 日後の様子。雪はすっかり融けて、晩秋のような風景に変わってしまった。私の山荘に架けた、カメラつきの小鳥の巣箱にも、さっ



そく、シジュウカラが「見学」に来ていた。去年は、ヒナが巣箱内でヘビに襲われて全滅したので、今年ほうまく営巣して巣立ってほしいと思った。



東京への帰り道は、軽井沢市街地へは下らず、高崎市へ直接抜ける「県道 58 号線」を利用することが多い。途中一箇所、樹木が低くて開けた場所がある。



ここはもともとカラマツの森だったのだが、震災の時に緊急に材木を供出し、その後苗を植えなおした場所だ。苗はまだ低く、おかげで浅間山がよく見える。



この道は途中「二度上峠(にどあげとうげ)」を越える。峠は標高が 1400m 近くあるので、道端にまだ雪が残っていた。このあたりは冬と春が混在している。